

# 2004年記録

八杉満利子

京都産業大学

e-mail: yasugi@cc.kyoto-su.ac.jp

## 1 出版

### • 学術論文

1. CCA2004 Sequential computability of a function - Diagonal computability and limiting recursion - by Yoshiki Tsujii, Mariko Yasugi and Takakazu Mori, ENTCS, vol.120, 187-199, 2005.
2. 八杉満利子 「数理論理学—20世紀から21世紀へ—」に寄せて 科学基礎論研究 vol.32 (第103号), No.1, p.1
3. Mariko Yasugi and Yoshiki Tsujii, Computability of a function with jumps - Effective uniformity and limiting recursion- Topology and its Applications 146-147 (2005), 563-582.

### • 一般記事・著書等

1. 平成14年度 日本医科大学 特別講義 - 私と数学 - 第2回 11/8 (金) 八杉満利子 「数学：私の歩き方」13-31 日本医科大学 数学教室 儀我真理子編集

### • 報告書

1. RIMS Proceedings, M. Yasugi and Y. Tsujii (Jan. 2004), Computability problems of piecewise continuous functions, 118-127, in 数理解析研究所講究録 1381 "数学解析の理論的展開の計算機による支援・遂行可能性" 京都大学数理解析研究所 研究集会報告集 研究代表者 吉川 敦 June 2004.
2. 京都産業大学 総合学術研究所所報第2号 平成16年8月 京都産業大学総合学術研究所 「連続体上の計算可能性 - 極限計算の諸理論の相互関係」八杉満利子 29-39.
3. 平成15年度 異分野研究者交流促進事業フォーラム 数理の世界報告書 (独立行政法人 科学技術振興機構 会期:平成15年12月07日 - 09日会場:幕張プリンスホテル) 「極限計算可能性—不連続点における計算の認識について—」八杉

## 2 講演

1. The 6th Workshop on Computability and Complexity in Analysis (CCA2004)  
8月19日 11:15-11:45 Y.Tsujii,M.Yasugi,T.Mori, Sequential computability of a function - Diagonal computability and limiting recursion  
-  
座長 (8月18日午前前半)  
at Academy Leucorea, Wittenberg, Germany
2. 日本数理科学協会年会論理数学科分科会 9月16日 14:00 14:40  
八杉満利子 (Y.Tsujii,M.Yasugi,T.Mori) Sequential computability of a function - diagonal space and limiting recursion
3. 日本数学会秋季総合分科会・基礎論および歴史分科会 9月22日 10:50 - 11:05 八杉満利子・辻井芳樹・森隆一 「kobefnl」
4. CC-Seminar 2004-2 12月12日(日) 14:00 - 14:40 八杉・森・辻井 Effective uniform sequences

## 3 海外出張

1. The 6th Workshop on Computability and Complexity in Analysis (CCA2004),  
Lutherstadt Wittenberg, Germany, Academy Leucorea 2004年8月  
16日 - 21日 (柏森財団)

## 4 国内出張

- 日本数理科学協会年会論理数学科分科会 9月16日神戸大学
- 2005年1月8日 数学教育の会 2005年冬の集会 学習院大学百年記念会
- 数学研究連絡会 2005年3月26日 日本大学  
数学会・将来構想小委員会 2005年3月27日 日本大学

## 5 役職

理学部長・理学研究科長 (2003 - 2004)  
関西サイエンス・フォーラム委員

## 6 委員等

- 科学基礎論学会 評議員・理事・編集委員
- ASL Translation Committee
- 数理解析研究所 専門委員 2003-2005 2004年1月22日(木) 13:00-15:00 専門委員会
- 日本数理科学協会 Scientiae Mathematicae 編集委員 (Group Logics)
- 数学研究連絡会 第19期委員 平成15年9月-平成18年  
3月26日(土) 17:00-19:00 日本大学 第四回数学研究連絡委員会  
3月27日(日) 14:00-15:30 日本大学 第三回将来計画小委員会
- Organizing Committee The Second International Conference on CCA (Computability and Complexity in Analysis) 2005 Kyoto
- Program Committee The 9th Asian Logic Conference August 16-19, 2005 Novosibirsk, Russia
- Editor Journal of Universal Computer Science  
Editor Mathematica Japonica, Scientia Mathematicae (JAMS)  
Editor International Journal of Pure and Applied Mathematics  
Editor Annals of the Japan Association for Philosophy of Science  
Editor 科学基礎論研究

## 7 研究費

- 科学研究費 研究代表者 (基盤 B)
  1. 分担者
    - I 研究代表者 小田秀典 (萌芽)
    - II 研究代表者 上田完治 (???)
- ORC(Open Research Center) プロジェクト・メンバー 研究代表者  
八木 プロジェクト・リーダー 小田秀典
- 財団法人 柏森情報科学振興財団 研究助成金交付決定通知書

1. 助成対象研究テーマ 極限計算理論による、区分的連続関数の計算論の確立

2. 研究助成金額: 50万円

3. 交付番号: K15研VIIII第157号

## 8 研究会等主催

1. 柏森財団によるセミナー CC-Seminar 04-1, 2004年11月21日(日) 12:30 - 15:30 京都産業大学第三研究室棟3F会議室

講演者: K. Weihrauch, U. Kohlenbach

2. 科学研究補助金 基盤研究Bによるセミナー CC-Seminar 04-2, 2004年12月11(土)・12(日) 10:00 - 17:00 キャンパスプラザ京都・産大サテライトオフィス第2講習室(一部第3)プログラム・アブストラクトあり
3. CC-Seminar 談話会 2005年2月10日(木) 14:00 - 16:00 講師: 吉川敦 Questions and problems from a naive observer of the field
4. CC-Seminar 04-3, 2005年2月21日(月) 13時0分 ~ 17時0分  
万有距離空間理論の実効化勉強会 講師: 鴨浩靖(奈良女子大) Urysohnによる万有距離空間の構成方法の実効化理論  
講師: 河村彰星(東京大学) アナログ計算の理論の変遷
5. CC-Seminar 04-4, 2005年3月11日(金) 10時30分 ~ 17時00分  
カオスと計算可能性セミナー 講師: 西澤清子(城西大学) カオス理論における最近の展開、とくにカオスの定義から導かれる重要な帰結  
講師: 森隆一(京産大) 無限個の縮小写像をベースにした自己相似集合の構成
6. CC-Seminar 2004-5, 2005年3月16日(木) 13:00 - 15:30  
講師: 山田修司(京産大) Nabutovski and Weinberger papaer の解説